

授業概要

同時多発テロ、新型インフルエンザ、東日本大震災の地震・津波、原発事故、企業の不祥事等で企業におけるリスクマネジメントの役割が極めて重要視されて来ている。本授業では企業の存続を脅かす経営上の各種リスク（情報システムの停止、粉飾決算、情報流出、法律違反、事故・自然災害・人災等）に科学的に対処する方法論を学習する。まず「リスクマネジメント」の基本的な概念を学習し、次に情報セキュリティ、個人情報保護、コンプライアンス、事業継続、内部統制、経済、環境、品質の具体的な個別対象分野で、どのようにリスクに対処して行くべきかを最新の事例を交えて学習する。東日本大震災等の結果判明した新たな知見等についても学習する。本講義の受講で得た知識を卒業後社会・企業で実践することにより、社会人として活動して行く上で遭遇する様々なリスクにも組織的・個人的に対処する能力が養われることが期待される。

授業計画

第1回	リスクマネジメントの基礎（1）
第2回	リスクマネジメントの基礎（2）
第3回	リスクマネジメントの基礎（3）
第4回	基礎理論演習
第5回	情報セキュリティ（1）
第6回	情報セキュリティ（2）
第7回	個人情報保護
第8回	コンプライアンス
第9回	事業継続（1）
第10回	事業継続（2）
第11回	内部統制（1）
第12回	内部統制（2）
第13回	経済
第14回	環境・品質
第15回	補講・まとめ
第16回	考査（筆記試験）

到達目標

以下の各事項の修得を目指す

- ①企業経営の基本となる「マネジメントサイクル」の概念
- ②リスク対処の方法論及びそのプロセス
- ③リスク対象分野に関する基本的な知識（社会人・企業人として必要な知識・常識を含む）
- ④企業・社会・個人の諸問題をリスクマネジメントと関連させて考慮・解決する習慣

履修上の注意

第1～3回は基礎概念の説明であり、この部分を身につけておかないと後の個別部分の理解に支障をきたす事になるので、必ず受講すること。毎回出席者に資料を配付して講義を行い、出席したその場で理解することを前提とするので、欠席した場合は必ず当該部分を自己学習で補わないと次回以降の理解に支障を来す。

予習復習

予習：日常報道される関連事項に興味を持ち、チェックしておく。

復習：毎回授業の最後に出題される演習問題、第4回の基礎理論演習に答えられるように配付資料・その他で再学習を行う。実際の社会の出来事を学習したリスクマネジメントの観点から評価して見る。

評価方法

規定の出席日数に達した者に対して筆記試験による考査（知識と応用力を見る）を実施し、その結果で評価を行う。出席状況を考慮する。

テキスト

なし（資料を毎回配布またはダウンロード可能とする）